

実績確認概要書

平成 27 年 10 月 8 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	梅田スカイビルにおける、高層および中層系統送水ポンプの変揚程変流量制御装置（エコノパイロット）導入による排出削減事業
承認番号	KC1345
排出削減事業者名	積水ハウス梅田オペレーション株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：横河商事株式会社)
事業実施場所	梅田スカイビル (住所：大阪府大阪市北区大淀中 1 丁目 1 番 88 号)
事業の概要	既設の送水ポンプ（インバーターによる圧力一定制御）に、変揚程変流量制御装置を追加導入し、部分不可時の送水ポンプ回転数を下げることによって電力使用量を削減し、エネルギー効率を改善する。
排出削減量の計画	< 限界電源炭素排出係数使用の場合 > 2012 年度 41tCO ₂ /年 2013~2019 年度 134 tCO ₂ /年 2020 年度 67 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計：1,046 tCO ₂) < 全電源炭素排出係数使用の場合（参考値） > 2012 年度 34 tCO ₂ /年 2013~2019 年度 134 tCO ₂ /年 2020 年度 67 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計：1,039 tCO ₂)
Jクレジット認証期間	開始日 2012 年 10 月 1 日 終了予定日 2020 年 9 月 30 日
排出削減方法論	方法論番号 005「間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入」

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2015年3月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	254tCO2 (2013年4月1日～2015年3月31日)
-------	-----------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第2回実績確認のため、該当なし 2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した変揚程流量制御装置は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における電力量計の計測値等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 第1回目実績確認の現地訪問時の目視確認、審査関係者への質問、変揚程流量制御装置による測定記録の確認等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、電力使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 変揚程流量制御装置による測定記録等の確認、審査関係者への質問により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、電力使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている排出係数等が、(J-クレジット制度) モニタ

	<p>リング・算定規程（排出削減プロジェクト用） Ver2.2 及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2020 年 9 月 30 日を超えないことを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
該当なし

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 114.7kl であることを確認した。

以上